

日本ユネスコ国内委員会の活動に関する報告(人間と生物圏(MAB)計画分科会)  
(平成 26 年 5 月 20 日～平成 27 年 5 月 18 日)

※所属・職名等は当時のもの

平成 26 年 6 月 10 日～13 日、ヨンショーピン(スウェーデン)で第 26 回人間と生物圏(MAB)計画国際調整理事会が開催され、我が国から生物圏保存地域(国内呼称:ユネスコエコパーク)に推薦していた「只見」(福島県)及び「南アルプス」(山梨県、長野県、静岡県)の新規登録並びに「志賀高原」(群馬県、長野県)の拡張登録が決定されました。これにより、我が国のユネスコエコパークは、合わせて計 7 か所となりました。



白根三山 提供:南アルプス市

(我が国からの出席者:松田 裕之 日本ユネスコ国内委員会調査委員(MAB 分科会)、野田 孝夫 文部科学省国際統括官付ユネスコ協力官 ほか)



只見の雪食地形と集落 提供:只見町

ユネスコエコパークの登録地は、ユネスコエコパーク世界ネットワークに登録されます。ユネスコという国際機関からの世界的な評価を受けることにより、自然環境の保全や自然と人間社会との共生に関する地域の取組を、国際的にも発信し、ネットワークを通じて情報の共有化が図られることや、それによりこれらの取組がより一層推進されることが期待されます。

また、地域における持続可能な開発に関する学習の場としての活用、自然環境の保全や持続可能な資源の利活用に関する普及啓発、持続可能な社会の構築のための人材育成への貢献も併せて期待されます。

#### 我が国のユネスコエコパーク

- ・1980 年(昭和 55 年) 「志賀高原」(群馬県、長野県)、「白山」(石川県、岐阜県、富山県、福井県)、「大台ヶ原・大峯山」(奈良県、三重県)、「屋久島」(鹿児島県)登録
- ・2012 年(平成 24 年) 「綾」(宮崎県)登録
- ・2014 年(平成 26 年) 「只見」(福島県)、「南アルプス」(山梨県、長野県、静岡県)新規登録、「志賀高原」(群馬県、長野県)拡張登録\*

\*「拡張登録」とは、1995(平成 7)年にユネスコエコパークの機能として、「経済と社会の発展」が追加されたため、それ以前に登録されたユネスコエコパークについて、その機能を果たす「移行地域」を追加するものです。

## 第1回ユネスコエコパーク全国サミット in 志賀高原

平成26年9月19日～20日、昨年6月に拡張登録が決定した志賀高原ユネスコエコパークにおいて「第1回ユネスコエコパーク全国サミット in 志賀高原」が開催されました。初日には、日本ユネスコ国内委員会人間と生物圏(MAB)計画分科会の鈴木 邦雄主査から、竹節 義孝山ノ内町長に、イリナ・ボコバユネスコ事務局長の署名が入ったユネスコエコパーク認定証が手渡されました。

本サミットでは、国内のユネスコエコパーク(只見、志賀高原、白山、南アルプス、大台ヶ原・大峯山、綾)から関係者が一堂に会し、各地域の特色ある取組の共有や、活発な意見交換などが行われました。ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会との共生)を目的とした取組です。本サミットを契機として、ユネスコエコパーク間の連携が促進され、持続可能な社会の構築に向けたモデルケースとなる取組が一層展開されることが期待されます。



提供:長野県山ノ内町

## 第2回日本ユネスコエコパークネットワーク会議

平成26年11月27日～28日、石川県白山市の白山国立公園センターにおいて第2回日本ユネスコエコパークネットワーク会議が開催されました。ユネスコエコパークに登録されている7地域と申請予定自治体が各地域の取組や課題、ユネスコエコパークのネットワークのあり方等について意見交換を行いました。また、2015年に志賀高原ユネスコエコパークにおいて開催予定の東アジア生物圏保存地域ネットワーク(EABRN)について、日本のMAB活動をアピールできる有意義な場にするべく検討を行いました。



提供:石川県白山市

## 南アルプスユネスコエコパーク 認定証授与記念式典



提供:南アルプス世界自然遺産登録推進協議会

平成27年2月14日、南アルプスユネスコエコパークにおいて「南アルプスユネスコエコパーク 認定証授与記念式典」が開催されました。本式典においては、南アルプスユネスコエコパークを構成する3県10市町村の代表者に対して認定証の授与が行われました。また、南アルプスユネスコエコパークの魅力について、増澤 武弘ユネスコエコパーク登録検討委員会委員長より講演がありました。さらに、構成自治体の一つである大鹿村に伝承されている大鹿歌舞伎の公演が行われるなど、南アルプスユネスコエコパークの魅力を十分に堪能できるイベントとなりました。

## 国際会議等一覧

| 会議等名称  | 開催日程<br>(開催地)                | 主な内容   | 我が国出席者                                       |
|--|------------------------------|--|--|
| 第 26 回人間と生物圏(MAB)計画国際調整理事会   | 26.6.10-13(ヨンショーピン・スウェーデン)   | 生物圏保存地域(国内呼称:ユネスコエコパーク)の新規登録についての審議等。我が国から推薦していた「只見」(福島県)及び「南アルプス」(山梨県、長野県、静岡県)の新規登録並びに「志賀高原」(群馬県、長野県)の拡張登録が決定された。   | 松田裕之日本ユネスコ国内委員会調査委員、野田孝夫文部科学省国際統括官付ユネスコ協力官ほか |
| MAB 新戦略に関する第1回会合   | 26.11.13-14                  | MAB 新戦略(2015-2025)案と、アクションプラン(2016-2015)策定に関する今後のスケジュール等について、加盟国から選ばれた12名の専門家により検討が進められた。  | 松田裕之日本ユネスコ国内委員会調査委員                          |
| 第 8 回東南アジア生物圏保護地域ネットワーク(SeaBRnet)会議<br>第 2 回アジア太平洋生物圏保護地域ネットワーク(APBRN)戦略会議<br>生物圏保護地域・保護エリアの管理に係るキャパシティ・ディベロップメントに関するアジア太平洋ワークショップ | 26.12.15 - 19(シエムリアップ・カンボジア) | アジア太平洋地域のユネスコエコパークの担当者により、エコツーリズム、エコラベリングの活用やポスト 2015 開発アジェンダへの貢献、世界ユネスコエコパークネットワークや今後の地域における協力等について検討された。<br>なお、SeaBRnet 会議および APBRN 会議の開催費用は我が国の信託基金により支出。 |  |
| 第 5 回世界島嶼沿岸生物圏保存地域ネットワーク会議   | 27.3.24-26(バレッタ・マルタ)         | 13カ国18地域の島嶼沿岸生物圏保存地域関係者が集まり、意見交換   | 屋久島町、田中俊徳計画委員                                |

## 国内委員会会議

| 年月日     | 会議名              | 主な内容   |
|---------|------------------|--|
| 26.5.20 | 第 30 回 MAB 計画分科会 | ・第 26 回 MAB 計画国際調整理事会への対応について                      |
| 26.9.8  | 第 31 回 MAB 計画分科会 | ・ユネスコエコパークについて、平成27年申請に向けて検討を行っている団体からの申請書概要に関する審議 |

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 27.4.8 | 日本ユネスコ国内委員会第126回自然科学及び第115回人文・社会科学合同小委員会 | ・サステナビリティ・サイエンスの推進について<br>・ユネスコにおける科学事業の在り方について |
|--------|--|---|

### 国内関連会議・イベント等

| 年月日            | 会議・イベント等 名   | 主 な 内 容   |
|----------------|--|---|
| 26.5           | 「世界自然環境大百科」出版  | ・ユネスコの「人間と生活圏計画(MAB)」の支援により、「世界自然環境大百科」(第9巻:北極・南極・高山・孤立系)(朝倉書店、大澤雅彦調査・計画委員監訳)が出版                  |
| 26.6.7         | 第70回日本ユネスコ運動全国大会 in 知床「持続可能な社会の構築を目指して～知床に集おう！ユネスコの英知」         | ・日本全国のユネスコ協会・クラブの関係者が会合。地球環境の保全を知床から考えるパネルディスカッション等   |
| 26.7.5         | 2014年度第1回日本MAB計画委員会  | ・南アルプス市地域防災交流センターにて9名の委員が出席し、各BRの活動報告、申請検討サイトの準備状況などが議論された。                                       |
| 26.8.3         | 只見ユネスコエコパーク登録記念シンポジウム  | ・講演会、ブナ林の保護・保全と活用について各地からの報告、パネルディスカッション等   |
| 26.9.19-20     | 第1回ユネスコエコパーク全国サミット in 志賀高原                                     | ・ユネスコエコパーク認定証授与、講演会、パネルディスカッション、ガイドトレッキング   |
| 26.9.27-29     | 第5回日本ジオパーク全国大会   | ・分科会「ジオパークと生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)」において、白山・南アルプス・綾の事例を報告。ユネスコエコパークとジオパークの比較について議論                      |
| 26.10.1-2      | 朝日地球環境フォーラム  | ・ユネスコエコパークとは何か、豊かな「森」と「人」が共存し地域社会を発展させていくために何ができるのか南アルプスの事例から考えるセッション、他                           |
| 26.11.8        | 第6回ユネスコスクール全国大会/ESD 研究発表会                                      | ・国立大学法人横浜国立大学が実施したユネスコパートナーシップ事業「ユネスコエコパークを活用したESD教材の開発」の成果をポスター報告                                |
| 26.11.12       | 国連大学サステナビリティ高等研究所・環境省・地球環境パートナーシッププラザ主催「地域のステークホルダーをESDでつなげよう」 | ・ESD活動のフィールドとしての役割が期待される社会教育施設や自然公園などとの連携の促進について検討、「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の併催行事として名古屋で開催 |
| 26.11.15-16,29 | 白山ユネスコエコパーク・リレーシンポジウム「ユネスコエコパークで再発見する地域の魅力」                    | ・綾や只見の活動事例、白山の自然・文化資源やそれを活かした活動について、白山の地域住民向けに講演  |
| 26.11.27-28    | 第2回日本ユネスコエコパークネットワーク会議   | ・登録7地域と申請予定自治体の活動報告、日本ユネスコエコパークネットワーク(J-BR-net)の運   |

|         |   |  |
|---------|---|--|
|         |   | 営方法、東アジア生物圏保存地域ネットワーク (EABRN) 会合の開催について意見交換  |
| 27.1.29 | UNU-IAS OUIK 国際シンポジウム「石川・金沢の里山里海『発見』から『連携』へー世界ネットワークを自治体はどう活かすかー」 | ・ユネスコニューヨーク事務所科学専門官アナ・パーシック氏(元 MAB 事務局)を迎え、白山をはじめ、能登の世界農業遺産や金沢市のユネスコ・クリエイティブシティについて事例報告。前日に、パーシック氏は白山を視察 |
| 27.2.14 | 南アルプスユネスコエコパーク 認定証授与記念式典  | ・ユネスコエコパーク認定証授与、大鹿歌舞伎特別公演等   |
| 27.2.16 | 国際ワークショップ「日本と世界のユネスコ MAB 計画活動」                                    | ・カナダの MAB 国内委員マウリン・リード氏を横浜国立大学に迎え、日本とカナダの MAB 活動について意見交換   |
| 27.2.17 | 日本ユネスコエコパークネットワーク ワーキンググループ会合                                     | ・第 2 回日本ユネスコエコパークネットワーク会議を受け、日本ユネスコエコパークネットワーク (J-BR-net) の組織構築について意見交換                                  |
| 27.2.24 | ユネスコエコパークのブランド活用を促進するためのワーキンググループ会議                               | ・ユネスコエコパークのブランド価値の利用について、各 BR の取組状況の情報共有、ネットワークによる取組等の意見交換   |
| 27.3.20 | 2014 年度第2回日本MAB 計画委員会   | ・鹿児島大学中央図書館にて、MAB次期戦略WG 報告、ブランド化の取り組みなどが議論された。   |